

Title	榊原研互教授略歴および業績目録
Sub Title	The chronology and the list of writings of Professor Kengo Sakakibara
Author	
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2024
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.67, No.3 (2024. 8) ,p.415- 418
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	榊原研互教授・岡本大輔教授 退任記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20240800-0415

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

榊原研互教授

略歴および業績目録

【学 歴】

慶應義塾大学商学部卒業 1980年 3 月
慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了 1982年 3 月
慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学 1985年 3 月

【職 歴】（主な学内職務を含む）

慶應義塾大学商学部助手 1982年 4 月～1988年 3 月
慶應義塾大学商学部入試委員 1987年 4 月～1989年 3 月
慶應義塾大学商学部助教授 1988年 4 月～1998年 3 月
慶應義塾大学商学部人事委員会幹事 1992年 9 月～1994年 8 月
慶應義塾大学商学部入試委員 1995年 4 月～1997年 3 月
慶應義塾大学商学部教授・同大学大学院商学研究科委員 1998年 4 月～2023年 3 月
慶應義塾大学教職課程センター学習指導副主任 1998年10月～2000年 5 月
慶應義塾大学教職課程センター所長 2002年10月～2006年 9 月
慶應義塾大学大学院商学研究科学習指導委員・幹事 2007年10月～2013年 9 月
慶應義塾体育会空手部部长 2008年 4 月～2023年 3 月
慶應義塾大学商学部人事委員会幹事 2011年 3 月～2013年 2 月
慶應義塾大学商学会委員長 2015年 4 月～2015年 9 月
慶應義塾大学商学部長・同大学大学院商学研究科委員長 2015年10月～2019年 9 月
慶應義塾評議員 2020年11月～2022年10月
慶應義塾大学名誉教授 2023年 4 月

（在外研究）

西ドイツ・ケルン大学客員研究員 1985年 4 月～1987年 3 月
ドイツ・ミュンヘン大学客員教授 2000年 5 月～2002年 3 月
ドイツ・ミュンヘン大学客員教授 2014年 6 月～2014年12月

（非常勤講師）

武蔵大学経済学部 1999年 4 月～2000年 3 月
中央大学大学院戦略経営研究科 2009年 9 月～2014年 3 月, 2015年 4 月～2015年 9 月

【社会活動・学会活動】

ドイツ経営学研究会（幹事：1982年 4 月～1985年 3 月）
日本経営学会（幹事：1992年 9 月～2000年 5 月。理事：2013年 9 月～2019年 8 月）
国際戦略経営研究学会（理事：2008年 1 月～2011年 9 月）

経営哲学学会（理事：2008年9月～2014年8月，2017年9月～継続中，会長：2021年9月～継続中）
 経営学史学会
 ポパー哲学研究会
 大学基準委員会委員（2017年6月～2019年5月）

【受 賞】

慶應義塾大学商学部教育メディア賞 2012年11月
 慶應義塾体育会功労賞 2023年3月

【主要業績】

〔著書〕

『経済科学と批判的合理主義——ドイツと日本の知的交流——』（共著）慶應通信，1988年
 『マーケティング研究の方法論』（共著）中央経済社，1991年
 『現代ドイツ経営学研究』（共著）森山書店，1994年
 『イノベーションと事業再構築』（共著）慶應義塾大学出版会，2006年
 『経営哲学の授業』（共著）PHP 研究所，2012年
 『ゲーテンベルク』（共著）文真堂，2013年
 『組織のメソドロジー』（共著）学文社，2020年

〔論文〕

「意思決定志向的経営経済学の方法論的検討」『三田商学研究』25巻6号（1983年2月）pp. 148-167.
 「ベルヌーイ原理とその問題性——西ドイツ経営経済学における論争の批判的論評——」『三田商学研究』27巻6号（1985年2月）pp. 33-56.
 「H. コッホの行為理論的経営経済学の方法論的検討」『三田商学研究』28巻特別号（1986年4月）pp. 213-225.
 「批判的合理主義における合理性原理の身分と役割」（菊澤研宗氏との共著）『三田商学研究』30巻4号（1987年10月）pp. 19-30.
 „Rolle und Status des Rationalitätsprinzips in Poppers Kritischem Rationalismus“, *Keio Business Review* No.27-3 (1990), pp. 53-64. (Co-author: K. Kikuzawa)
 「ドイツ・マーケティング研究の現状」『日経広告研究所報』139号（1991年10月）pp. 24-28.
 「行動理論的経営経済学の再検討」『三田商学研究』35巻1号（1992年4月）pp. 84-96.
 「進化論的経営経済学の再検討——ザンクト・ガレン・グループの所説を中心に——」『三田商学研究』37巻2号（1994年6月）pp. 129-139.
 「ドイツ経営経済学における最近の方法論的問題状況」『三田商学研究』48巻1号（2005年4月）pp. 103-112.
 「ナレッジマネジメントにおける知識概念——ドイツ経営経済学における知識概念論争——」『三田商学研究』49巻4号（2006年10月）pp. 115-129.
 「ナレッジマネジメントにおける知識選択の問題——ドイツ経営経済学における科学的考察——」『三田商学研究』50巻3号（2007年8月）pp. 121-137.
 「超越論的實在論の批判的検討——R. バスカーの所説を中心に——」『三田商学研究』51巻4号（2008年10月）pp. 43-57.
 「経営学の方法論的基礎づけ——批判的合理主義の適用可能性に関する一考察——」『経営哲学』（経営哲学学会）第6巻1号（2009年7月）pp. 41-55.
 「ポパーの社会科学方法論について——シンポジウム報告への若干の補足——」『批判的合理主義研究』（日本ポパー哲学研究会）3巻2号（2011年12月）pp. 1-3.
 「経営学における混合研究法の方法論的検討——ドイツ経営経済学における議論を中心に——」『三田商

- 学研究』56巻6号(2014年2月) pp.103-114.
 「自律的な学としてのナレッジマネジメントの可能性」『三田商学研究』58巻2号(2015年6月) pp. 33-43.
 「科学哲学から見たイノベーション研究(小泉信三記念講座)」『三色旗』No. 827(2019年12月) pp. 16-30.
 「ドイツ一般経営経済学における方法論的問題状況——Chr. ユルミの所説を中心に——」『三田商学研究』63巻4号(2020年10月) pp. 35-46.
 「ドイツ経営経済学における学問の境界問題——シュライエグの所説を中心に——」『三田商学研究』66巻5号(2023年12月) pp. 19-29.

〔翻訳〕

- H. ラフェー／B. アベル『現代科学理論と経済学・経営学方法論』(共訳) 税務経理協会, 1982年
 W. リュッケ「「処理的要素」と「マネジメント」——その比較考察——」『三田商学研究』28巻特別号(1986年4月) pp. 36-48.
 B. J. コールドウェル『実証主義を超えて——20世紀経済科学方法論——』(共訳) 中央経済社, 1989年
 G. シャンツ『経営経済学の課題と方法——批判的合理主義をめざして——』同文館出版, 1991年
 H. ウルリッヒ／G. プロープスト『全体的思考と行為の方法——新しいネットワーク社会の可能性を問う——』(共訳) 文真堂, 1997年
 A. ピコー／H. ディートル／E. フランク『新制度派経済学による組織入門——市場・組織・組織間関係へのアプローチ——』(共訳) 白桃書房, 1999年

〔書評〕

- 「永野寛子著『資源ベース論の理論進化——企業における硬直化を巡る分析——』(中央経済社, 2015年)」『経営哲学』(経営哲学学会) 第12巻2号(2015年8月) pp. 32-33.

〔学会発表〕

- 「現代ドイツ経営学の諸潮流——マーケティング論を中心として——」ドイツ経営学研究会(明治大学), 1987年10月
 「現代西ドイツ経営経済学の動向」日本経営学会関東部会(慶應義塾大学), 1987年12月
 「現代西ドイツ経営経済学の動向——マーケティング論をめぐる問題状況——」日本経営学会全国大会(小樽商科大学), 1988年8月
 「G. シャンツ『経営経済学の課題と方法』をめぐる」ドイツ経営学研究会(明治大学), 1991年10月
 「菊澤研宗著『日米独組織の経済分析——新制度派比較組織論』を巡って」ドイツ経営学研究会(明治大学), 1998年6月
 「A. ピコー／H. ディートル／E. フランク著『新制度派経済学による組織入門——市場, 組織, 組織間関係へのアプローチ——』を巡って」(丹沢安治・田川克生・小山明宏との共同発表) ドイツ経営学研究会(明治大学), 1999年7月
 「ナレッジ・マネジメントを巡る諸問題——ドイツ経営経済学における批判的検討——」ドイツ経営学研究会(明治大学), 2006年12月
 「ドイツ経営経済学におけるナレッジマネジメントの展開——方法論的省察を中心に——」ドイツ経営学研究会(ドイツ日本研究所), 2008年4月
 「知識ベース企業論の再検討」国際戦略経営研究学会(戦略経営理論研究会)(慶應義塾大学), 2008年6月
 「経験科学としての経営学の可能性」経営哲学学会(慶應義塾大学), 2008年9月
 「経営学の課題と方法」日本経営学会関東部会(慶應義塾大学), 2009年6月
 「客観的解釈の可能性——批判的合理主義における理解の方法——」日本ポパー哲学研究会(第22回年

次研究大会) (日本大学文理学部), 2011年 7 月

「経営学における厳密性と適切性——方法論的考察——」 日本経営学会全国大会 (第85回大会) (甲南大学), 2011年 9 月

「大学とビジネススクールの在り方を考える——現在の課題と展望について——」 日本経営学会関東部会 (明治学院大学), 2012年 6 月

「ゲーテンベルクの方法——社会科学の可能性と限界——」 ドイツ経営学研究会 (関西学院大学大阪梅田キャンパス), 2013年 9 月

〔講演会〕

「日本の経営システムの諸問題」横浜慶友会講演会 (神奈川県立青少年センター), 1999年 6 月20日

「経営学入門」慶應通信文学会講演会 (玉川区民会館), 2005年 3 月12日

〔その他研究教育関連記事〕

「良問で学ぶ会計士スキルアップゼミ (経営学) 1 ~ 7 (連載)」『会計人コース』(中央経済社) 第34巻第11号~第35巻第 3 号, 1999年 9 月~2000年 3 月

「経営学方法論」『AERA Mook 経営学がわかる。』(朝日新聞社) 1997年 4 月, pp. 10-11.